

別表第 1

健康科学部 健康スポーツ科学科

高等学校教諭 1 種免許状（保健体育）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する本学教職課程授業科目		
科目等		各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に關する専門的事項	体育実技	それぞれ一単位以上修得すること	体育実技Ⅰ指導法	2	※
				体育実技Ⅱ指導法	2	いずれか選択必修
				体育実技Ⅲ指導法	2	
				体育実技Ⅳ指導法	2	※
				体育実技Ⅴ指導法	1	※
				健康運動Ⅰ指導法	2	
				健康運動Ⅱ指導法	2	
				スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）	2	※
				健康心理学	②	
				スポーツ心理学	2	
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	生理学（運動生理学を含む。）		スポーツマネジメント	2	
				スポーツ社会学	2	
				スポーツ行政論	2	
				運動学総論	②	
				トレーニング科学	2	
				バイオメカニクス	2	
				スポーツコーチング論	2	
				解剖生理学＜筋機能系＞	②	
				解剖生理学＜関節・生理系＞	②	
				運動生理学	2	※
	衛生学・公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学		衛生・公衆衛生学	2	※
				学校保健（含小児保健）	2	※
				精神保健	2	※
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	安全・救急法		安全・救急法	②	
				保健体育科教育法Ⅰ＜保健＞	2	※
				保健体育科教育法Ⅰ＜体育＞	2	※
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4	保健体育科教育法Ⅱ	4	※
最低修得単位数			24	計	55	
に教育する基礎的理解	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	教育学概論	2	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			学校制度・経営論（含地域連携及び学校安全）	2	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			発達心理学	2	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1	※
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2	※
教等道徳、相談等法に及ぶ関係する生徒の指導、時間	総合的な探究の時間の指導法		8	特別活動指導法（含総合的な学習の時間の指導法）	2	※
	特別活動の指導法			教育方法・技術論（含情報通信技術の活用）	2	※
	教育の方法及び技術					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			生徒指導論（含進路指導・キャリア教育）	2	※
	生徒指導の理論及び方法			教育相談（含カウンセリング理論）	2	※
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			教育実習Ⅰ＜事前・事後指導＞	1	※
関教する実科践目に	教育実習	3	教育実習Ⅱ	2	※	
			教育実習Ⅲ	2		
			教職実践演習	2	※	
最低修得単位数			23	計	26	
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の③を参照）			12	介護等実習（含事前・事後指導）	1	
				道徳の理論と指導法	2	
最低修得単位数			12	計	3	

【注意事項】

- ①本学教職課程授業科目のうち、○付数字は卒業必修単位、※は教職課程履修者の必修科目を示します。
- ②教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「健康科学概論（含健康管理）」（2単位）、「英語コミュニケーション＜基礎＞」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。
- ③「大学が独自に設定する科目」の単位数は、上記2科目の他に「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」及び「教育実践に関する科目」の最低修得単位の超過分にて充足することとなります。

別表第2

健康科学部 健康スポーツ科学科

中学校教諭1種免許状（保健体育）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目			
科目等		各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に 関する専門的 事項	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	それぞれ一単位以上修得すること	体育実技Ⅰ指導法	2	※
				体育実技Ⅱ指導法	2	いずれか選択必修
				体育実技Ⅲ指導法	2	
				体育実技Ⅳ指導法	2	※
				体育実技Ⅴ指導法	1	※
				健康運動Ⅰ指導法	2	
				健康運動Ⅱ指導法	2	
				スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）	2	※
				健康心理学	②	
				スポーツ心理学	2	
	スポーツマネジメント	2				
	スポーツ社会学	2				
	スポーツ行政論	2				
	運動学総論	②				
	トレーニング科学	2				
	バイオメカニクス	2				
	スポーツコーチング論	2				
	解剖生理学＜筋機能系＞	②				
	解剖生理学＜関節・生理系＞	②				
	運動生理学	2	※			
衛生・公衆衛生学	2	※				
学校保健（含小児保健）	2	※				
精神保健	2	※				
安全・救急法	②					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		8	保健体育科教育法Ⅰ＜保健＞	2	※	
			保健体育科教育法Ⅰ＜体育＞	2	※	
			保健体育科教育法Ⅱ	4	※	
最低修得単位数			28	計	55	
教育に関する基礎的理解に 関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	教育学概論	2	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			学校制度・経営論（含地域連携及び学校安全）	2	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			発達心理学	2	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1	※
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2	※
等指導に 関する基礎的な 学習の指導、 教育時間 の確保等 の科目	道徳の理論及び指導法		10	道徳の理論と指導法	2	※
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動指導法（含総合的な学習の時間の指導法）	2	※
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術			教育方法・技術論（含情報通信技術の活用）	2	※
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			生徒指導論（含進路指導・キャリア教育）	2	※
	生徒指導の理論及び方法			教育相談（含カウンセリング理論）	2	※
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
教育に関する 実践科目	教育実習		5	教育実習Ⅰ＜事前・事後指導＞	1	※
			教育実習Ⅱ	2	※	
			教育実習Ⅲ	2	※	
			教職実践演習	2	※	
最低修得単位数			27	計	28	
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の③を参照）			4	介護等実習（含事前・事後指導）	1	※
最低修得単位数			4	計	1	

【注意事項】

- ① 本学教職課程授業科目のうち、○付数字は卒業必修単位、※は教職課程履修者の必修科目を示します。
- ② 教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「健康科学概論（含健康管理）」（2単位）、「英語コミュニケーション＜基礎＞」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。
- ③ 「大学が独自に設定する科目」の単位数は、上記1科目の他に「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位の超過分にて充足することとなります。

別表第3

健康科学部 体育科学科

高等学校教諭1種免許状（保健体育）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目			
科目等		各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に關する専門的事項	体 育 実 技	それぞれ一単位以上修得すること	体育実技Ⅰ指導法	2	※
				体育実技Ⅱ指導法	2	※
				体育実技Ⅲ指導法	2	※
				体育実技Ⅳ指導法	2	※
				体育実技Ⅴ指導法	1	※
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）	②	
				健康心理学	②	
				スポーツ心理学＜基礎＞	2	
				スポーツマネジメント	2	
				スポーツ社会学	2	
				生涯スポーツ論（含スポーツ行政）	2	
				トレーニング科学＜基礎＞	②	
				バイオメカニクス	2	いずれか1科目選択必修
				スポーツコーチング論＜基礎＞	2	
				スポーツ史	2	
	生理学（運動生理学を含む。）	基礎解剖生理学		②		
運動生理学		②				
衛生・公衆衛生学		2		※		
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健（含小児保健）	2		※		
	精神保健	2		※		
	安全・救急法	2		※		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4		保健体育科教育法Ⅰ＜保健＞	2	※
				保健体育科教育法Ⅰ＜体育＞	2	※
			保健体育科教育法Ⅱ	4	※	
最低修得単位数			24	計	49	
に教育の基礎的理解	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	教育学概論	2	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			学校制度・経営論（含地域連携及び学校安全）	2	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			発達心理学	2	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1	※
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2	※
等指導に關する科目	総合的な探究の時間の指導法		8	特別活動指導法（含総合的な学習の時間の指導法）	2	※
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術			教育方法・技術論（含情報通信技術の活用）	2	※
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導論（含進路指導・キャリア教育）	2	※
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談（含カウンセリング理論）	2	※
関教する実科践目に	教育実習	3	教育実習Ⅰ＜事前・事後指導＞	1	※	
			教育実習Ⅱ	2	※	
			教育実習Ⅲ	2		
	教職実践演習	2	教職実践演習＜中・高＞	2	※	
最低修得単位数			23	計	26	
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の③を参照）			12	介護等実習（含事前・事後指導）	1	
				道徳の理論と指導法	2	
最低修得単位数			12	計	3	

【注意事項】

①本学教職課程授業科目のうち、○付数字は卒業必修単位、※は教職課程履修者の必修科目を示します。

②教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「健康科学概論（含健康管理）」（2単位）、「英語コミュニケーション＜基礎＞」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。

③「大学が独自に設定する科目」の単位数は、上記2科目の他に「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」及び「教育実践に関する科目」の最低修得単位数の超過分にて充足することとなります。

別表第4

健康科学部 体育科学科

中学校教諭1種免許状（保健体育）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目				
科目等		各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に 関する 専門的 事項	体 育 実 技	それぞれ一単位以上修得すること	体育実技Ⅰ指導法	2	※	
				体育実技Ⅱ指導法	2	※	
				体育実技Ⅲ指導法	2	※	
				体育実技Ⅳ指導法	2	※	
				体育実技Ⅴ指導法	1	※	
		スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）		②			
		健康心理学		②			
		スポーツ心理学＜基礎＞		2			
		スポーツマネジメント		2			
		スポーツ社会学		2			
		生涯スポーツ論（含スポーツ行政）		2			
		トレーニング科学＜基礎＞		②			
		バイオメカニクス		2	いずれか1科目選択必修		
		スポーツコーチング論＜基礎＞		2			
		スポーツ史		2			
		基礎解剖生理学		②			
	生理学的	運動生理学		②			
		衛生学・公衆衛生学		2	※		
		事項		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	2	※	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			8	保健体育科教育法Ⅰ＜保健＞	2	※
					保健体育科教育法Ⅰ＜体育＞	2	※
		保健体育科教育法Ⅱ			4	※	
	最低修得単位数			28	計	49	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	教育学概論	2	※
教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論（含チーム学校運営への対応）	2		※		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校制度・経営論（含地域連携及び学校安全）	2		※		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学	2		※		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		※		
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2		※		
等指導に導く、関与する、総合的な指導、学習の指導、時間相等の科目	道徳の理論及び指導法		10	道徳の理論と指導法	2	※	
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動指導法（含総合的な学習の時間の指導法）	2	※	
	特別活動の指導法						
	教育の方法及び技術			教育方法・技術論（含情報通信技術の活用）	2	※	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			生徒指導論（含進路指導・キャリア教育）	2	※	
	生徒指導の理論及び方法			教育相談（含カウンセリング理論）	2	※	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			教育実習Ⅰ＜事前・事後指導＞	1	※	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
教育実践科目	教育実習	5	教育実習Ⅱ	2	※		
			教育実習Ⅲ	2	※		
			教職実践演習	2	※		
			2	教職実践演習＜中・高＞	2	※	
最低修得単位数			27	計	28		
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の③を参照）			4	介護等実習（含事前・事後指導）	1	※	
最低修得単位数			4	計	1		

【注意事項】

- ①本学教職課程授業科目のうち、○付数字は卒業必修単位、※は教職課程履修者の必修科目を示します。
- ②教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「健康科学概論（含健康管理）」（2単位）、「英語コミュニケーション＜基礎＞」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。
- ③「大学が独自に設定する科目」の単位数は、上記1科目の他に「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位数の超過分に充てられ、充足することとなります。

別表第5

健康科学部 栄養科学科

栄養教諭1種免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目		
科目等	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備考
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養教育論	2	※
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項				
	食生活に関する歴史的及び文化的事項				
	食に関する指導の方法に関する事項		学校栄養教育法	2	※
最低修得単位数		4	計	4	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育学概論	2	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校制度・経営論（含地域連携及び学校安全）	2	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学	2	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	※
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2	※
育等道徳、相談内容、総合的関心の生徒指導、時間	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳・特別活動指導法（含総合的な学習の時間の指導法）	2	※
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法・技術論（含情報通信技術の活用）	2	※
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2	※
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（含カウンセリング理論）	2	※
科教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	学校栄養教育実習Ⅰ＜事前・事後指導＞	1	※
			学校栄養教育実習Ⅱ	1	※
	教職実践演習	2	教職実践演習＜栄養＞	2	※
最低修得単位数		18	計	23	

【注意事項】

①本学教職課程授業科目のうち、※は教職課程履修者の必修科目を示します。

②教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「体育・スポーツ（含理論）」（2単位）、「英語コミュニケーション＜基礎＞」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。

別表第6

健康科学部 こども健康・教育学科

中学校教諭1種免許状（保健体育）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目			
科目等		各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	それぞれ一単位以上修得すること	体育実技Ⅰ指導法	1	※
				体育実技Ⅱ指導法	1	※
				体育実技Ⅲ指導法	1	※
				体育実技Ⅳ指導法	1	※
				体育実技Ⅴ指導法	1	※
				体育実技Ⅵ指導法	1	※
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		野外運動	②	
				健康心理学	②	
				スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）	◆ 2	※
				スポーツ心理学	◆ 2	2単位以上選択必修
				スポーツマネジメント	◆ 2	
				スポーツ社会学	◆ 2	
				スポーツ行政論	◆ 2	
				運動学総論	◆ 2	
				トレーニング科学	◆ 2	
				バイオメカニクス	◆ 2	
				スポーツコーチング論	◆ 2	※
				解剖生理学＜筋機能系＞	◆ 2	
				解剖生理学＜関節・生理系＞	◆ 2	※
				運動生理学	◆ 2	※
		衛生学・公衆衛生学		2	※	
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		2	※	
		安全・救急法		2	※	
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		8	保健体育科教育法Ⅰ	4
			保健体育科教育法Ⅱ	4	※	
最低修得単位数			28	計	48	
関する基礎的理解に	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	こどもと学校＜教育の理念・歴史・思想＞	2	※	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校制度・経営論（含地域連携及び学校安全）	2	※	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		こどものこころの発達	2	※	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論（含障がい児支援）	2	※	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2	※	
	道徳の理論及び指導法		道徳の理論と指導法	2	※	
等指導、法及び総合的な学習の指導、の教育時間相等談の	総合的な学習の時間の指導法	10	特別活動指導法（含総合的な学習の時間の指導法）	2	※	
	特別活動の指導法		教育方法・技術論（含情報通信技術の活用）	2	※	
	教育の方法及び技術		生徒指導論（含進路指導・キャリア教育）	2	※	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育相談の理論と方法（含カウンセリング）	2	※	
	生徒指導の理論及び方法		教育実習Ⅲ＜中等教育実習事前・事後指導＞	1	※	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育実習Ⅳ	4	※	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教職実践演習＜幼・小・中＞	2	※	
	関する実科実践に		教育実習	5		
教職実践演習		2				
最低修得単位数			27	計	29	
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の④を参照）			4	こどもと人権	2	
				こどもの食育指導法	2	
				こどもの情報教育・ICT（情報機器）の活用法	2	
				介護等実習（含事前・事後指導）	1	※
最低修得単位数			4	計	7	

【注意事項】

①本学教職課程授業科目のうち、○付数字は卒業必修単位、※は教職課程履修者の必修科目を示します。

②◆印は、健康スポーツ科学科の開設授業科目を示します。

③教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「体育・スポーツ（含理論）」（2単位）、「英語コミュニケーション＜基礎＞」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。

④「大学が独自に設定する科目」の単位数は、「介護等実習（含事前・事後指導）」（1単位）の他に、上記選択科目並びに「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位の超過分を含めて充足することとなります。

別表第7

健康科学部 こども健康・教育学科

小学校教諭1種免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目			
科目等		各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	一以上の科目について修得すること	こどもと国語	2	※
				こども文化のデザイン	2	
		社 会		こどもと社会＜地理・歴史・公民＞	2	※
		算 数		こどもと算数	2	※
		理 科		こどもと理科＜観察・実験＞	2	※
		生 活		こどもと生活＜身近な環境での生活＞	2	※
				遊びの研究＜遊びを創る＞	2	
		音 楽		こどもと音楽Ⅰ＜音楽教育と楽器＞	1	※
				こどもと音楽Ⅱ＜音楽教育と楽器＞	1	※
		図 画 工 作		こどもと造形Ⅰ＜造形能力の発達＞	2	※
	の各教科の指導法（情報通信技術を含む。）	それぞれ一単位以上修得すること	家 庭	こどもと造形Ⅲ＜応用的表現＞	2	
			体 育	こどもと家庭＜日常生活と衣食住＞	2	※
			外 国 語	こどもと体育	2	※
				こどもと外国語	2	※
			国語（書写を含む。）	教科教育法＜国語＞	2	※
			社 会	教科教育法＜社会＞	2	※
			算 数	教科教育法＜算数＞	2	※
			理 科	教科教育法＜理科＞	2	※
			生 活	教科教育法＜生活＞	2	※
			音 楽	教科教育法＜音楽＞	2	※
	図 画 工 作	教科教育法＜図画工作＞	2	※		
	家 庭	教科教育法＜家庭＞	2	※		
	体 育	教科教育法＜体育＞	2	※		
	外 国 語	教科教育法＜外国語＞	2	※		
最 低 修 得 単 位 数			30	計	46	
関する教育の基礎的理解に	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	こどもと学校＜教育の理念・歴史・思想＞	2	※	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校制度・経営論（含地域連携及び学校安全）	2	※	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		こどものこころの発達	2	※	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論（含障がい児支援）	2	※	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2	※	
目及び道徳、生徒総合的な学習の時間等に関する指導科法	道徳の理論及び指導法	10	道徳の理論と指導法	2	※	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動指導法（含総合的な学習の時間の指導法）	2	※	
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術		教育方法・技術論（含情報通信技術の活用）	2	※	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論（含進路指導・キャリア教育）	2	※	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（含カウンセリング）	2	※	
関する実践に	教育実習	5	教育実習Ⅰ＜初等教育実習事前・事後指導＞	1	※	
			教育実習Ⅱ	4	※	
	教職実践演習	2	教職実践演習＜幼・小・中＞	2	※	
最 低 修 得 単 位 数			27	計	29	
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の③を参照）			2	こどもと人権	2	
				こどもの食育指導法	2	
				こどもの情報教育・ICT（情報機器）の活用法	2	
				介護等実習（含事前・事後指導）	1	※
最 低 修 得 単 位 数			2	計	7	

【注意事項】

- ①本学教職課程授業科目のうち、※は教職課程履修者の必修科目を示します。
 ②教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「体育・スポーツ（含理論）」（2単位）、「英語コミュニケーション＜基礎＞」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。
 ③「大学が独自に設定する科目」の単位数は、「介護等実習（含事前・事後指導）」（1単位）の他に、上記選択科目並びに「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目」の最低修得単位の超過分を含めて充足することとなります。

別表第8

健康科学部 こども健康・教育学科

幼稚園教諭1種免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学教職課程授業科目			
科目等		各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	備 考
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健 康	一以上の科目について修得すること	こどものからだの発達	2	※
		人間関係		こどもと人間関係	2	※
		環 境		こどもと数の概念<数概念の形成>	2	
				こどもと自然<発達の環境としての自然>	2	※
		言 葉		こどもとコミュニティ（含こどもの放課後活動）	2	
				こどもと言語<母語の習得>	2	※
		表 現		こどもと音楽Ⅴ<幼児の音楽表現>	2	※
				こどもと造形Ⅱ<幼児の造形表現>	2	※
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	—	保育内容総論	2	※	
			保育指導法<健康>	2	※	
			保育指導法<人間関係>	2	※	
			保育指導法<環境>	2	※	
			保育指導法<ことば>	2	※	
			保育指導法<表現>	2	※	
最 低 修 得 単 位 数			16	計	28	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	こどもと学校<教育の理念・歴史・思想>	2	※	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		こども論（含保育原理）	2	※	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教師論（含チーム学校運営への対応）	2	※	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		学校制度・経営論（含地域連携及び学校安全）	2	※	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		こどものこころの発達	2	※	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別支援教育概論（含障がい児支援）	2	※	
			保育・教育課程論（含カリキュラム・マネジメント）	2	※	
等指導に導く、総合的な学習の時間等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育方法・技術論（含情報通信技術の活用）	2	※	
	幼児理解の理論及び方法		こども理解<幼児及び児童理解の理論と方法>	②		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（含カウンセリング）	2	※	
関教育実践に	教育実習	5	教育実習Ⅰ<初等教育実習事前・事後指導>	1	※	
	教育実習Ⅱ		4	※		
	教職実践演習	2	教職実践演習<幼・小・中>	2	※	
最 低 修 得 単 位 数			21	計	27	
大学が独自に設定する科目（下記【注意事項】の③を参照）			14	こどもと人権	2	
				こどもの食育指導法	2	
				介護等実習（含事前・事後指導）	1	
最 低 修 得 単 位 数			14	計	5	

【注意事項】

- ①本学教職課程授業科目のうち、○付数字は卒業必修単位、※は教職課程履修者の必修科目を示します。
 ②教職課程履修者は、上記授業科目の他に「日本国憲法」（2単位）、「体育・スポーツ（含理論）」（2単位）、「英語コミュニケーション<基礎>」（2単位）及び「情報基礎演習」（2単位）を履修しなければなりません。
 ③「大学が独自に設定する科目」の単位数は、上記3科目並びに「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の最低修得単位の超過分を含めて充足することとなります。